ブランディング委員会　事業計画

委員長　小泉 大輔

横浜青年会議所は、SNS やホームページ等を活用し、幅広い情報発信を行ってまいりました。その取り組みにより一定の対象者に向けて情報を届けられております。一方で、使い方次第では、形式的な運用にとどまり、本来伝わるべき内容が埋もれてしまう危険性があります。情報は発信することそのものが目的ではなく、受け手に正確に届かせ、理解されて初めて、行動や共感につながり価値をもつため、双方向の関係性を築くことが重要です。

これまでの取り組みをさらに進化させ、横浜青年会議所の存在価値を広く社会に示すために、さらなるブランド力向上を図ります。発信する対象を限定せず、幅広い層に向けて情報を届けることで、新しい仲間の入会の機会を広げるとともに、行政・企業・市民など多様な関係者にも存在を認知していただけます。多くの SNS 等を駆使して運動を幅広く発信し、地域社会からの信頼を深め、共感の輪を広げ、市民に愛される組織となる基盤を確立することを目指します。そして SNS 等の発信戦略として、市民や行政、LOM 内に各事業の裏舞台を動画で紹介し､受け手の共感を呼ぶ心理効果を活用します｡この発信によって、活動の背景や目的への理解が一層と深まり、信頼の醸成につなげてまいります。TOYP2026 では、社会に貢献する傑出した人財を輩出し、日本青年会議所の事業に参画致します。世界から見たブランド力を一層向上させるため、JCIAWARDS において国際的に評価される事業構築方法を模索致します。10 月例会は、ブランディング成果を共有することで魅力と関心を高め、効果測定と分析を重ね、発信内容や広報活動を改善しながらブランド力向上につなげてまいります。

伝わる広報と一貫したブランディングで、組織の存在感を高めます。その成果が持続可能な組織基盤の確立につながり、新たな仲間の入会と市民の共感を広げます。横浜の発展と次代を担う青年育成に貢献する組織となって､信頼に満ちた団体になると確信致します。